

○財務省告示第百三十一号
 国債の発行等に関する省令（昭和五十七年大蔵
 省令第三十号）第六条第十一项の規定に基づき、
 平成二十五年三月十一日に発行した利付国債の発
 行条件等を次のとおり告示する。

平成二十五年四月九日

財務大臣 麻生 太郎

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
名称及び記 号	発行の根拠 の法律及びそ の条項	振替法の適 用等	発行方法	発行額	払込金額	最低額面金	振替単位	発行日	発行価格
利付国庫債券（二年）（第三百二十五回）	財政運営に必要な財源の確保を図るための公債の発行の特例に関する法律（平成二十四年法律第百一号）第二条第一項	社債、株式等の振替に関する法律（平成十三年法律第七十五号。以下「振替法」という。）の規定の適用を受けるものとし、その振替機関は日本銀行とする。	募集取扱機関による募集の取扱いによる発行	額面金額で百七億二千四百三十万円	百七億三千八百二十九万六千五百五十五円	五万円	振替法の規定による振替口座簿の記載又は記録は、最低額面金額の整数倍の金額によるものとす。	平成二十五年三月十一日	額面金額百円につき百円十三銭

十一

の経過利率
の払込み

(一) 年〇・一パーセント
各募集取扱機関は、払込金額に加え、次の算式により算出した金額を第十八号に規定する期日に払い込むものとする。

$$\text{額面金額の総額} \times \frac{0.1}{100} \times \frac{24}{365}$$

(二)

発行時において、その利子に係る所得税が源泉徴収されるものとして振替口座簿中の口座に記載又は記録されるものについては、前記(一)の算式により算出した金額から当該金額に百分の二十・三一五を乗じた金額(ただし、当該国債を発行時において取得する者が非居住者又は外国法人である場合には、前記(一)の算式により算出した金額に当該非居住者又は外国法人が適用を受ける所得税の税率を乗じた金額)を控除することができる。

十三

初期利子

平成二十五年八月十五日を支払期とし、次の算式により算出した金額を支払う。ただし、支払期が銀行休業日に当たるときは、その翌営業日に支払う(以下、次号及び第十五号において規定する期日について同じ)。

$$\text{額面金額} \times \frac{0.1}{100} \times \frac{1}{2}$$

十 八	十 七	十 六	十 五		十 四
払 込 期 日	払 込 所	元 金 支 出	償 還 金 額 限	償 還 期 限	後 の 利 子 以
平 成 二 十 五 年 三 月 十 一 日	日 本 銀 行	額 面 金 額 百 円 に つ き 百 円	平 成 二 十 七 年 二 月 十 五 日	利 子 を 支 払 う 。	て、その日以前六月間に属する を、支払期とし、各支払期にお 毎年二月十五日及び八月十五日